



時と道と手段。ルートは1つじゃない。

GOOD ROUTE

goodroute.jp

実施主体: 国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所、岡山大学大学院環境生命科学研究科、HIDETO SATO DESIGN、日本工営(株)

- 要旨**
- ✓ 国道2号を中心とした通勤・通学時の渋滞緩和・環境改善を目指し、既存のソフト施策を統一的に周知していくためのMM施策の総称「GOOD ROUTE」を構築した。
 - ✓ 2020年度は、「GOOD ROUTE」を活用した展開を図るため、ホームページ等の各種ツールの作成や横断幕等を主要国道に設置する等の情報発信を行うとともに、自分にあつた新しい通勤・通学を考えもらうための施策（PROJECT）として、朝活プロジェクト（第1弾）やアイデアソン等を実施した。
 - ✓ 今後は、認知向上を図るとともに、ハード整備やソフト施策の両輪での情報発信のもと、企業や地域住民への浸透や動機付けの提供を行う。

取組の背景、MM施策の総称「GOOD ROUTE」

- ▶ 岡山都市圏を中心とした通勤通学の状況を見ると、岡山市以西との結びつきが強く、通勤・通学手段としてもクルマ（自家用車）への依存度が高いことが分かる。
- ▶ 行政区単位でみても倉敷市方面と南区・北区との結びつきが強く、国道2号をはじめとした東西方向の流動が多い。

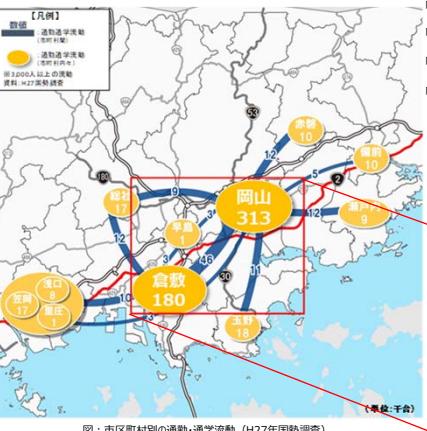


図: 市区町村別の通勤・通学流動 (H27年国勢調査)



図: 岡山県内他市町村への通勤・通学利用交通手段割合 (H22年国勢調査)



図: 国道2号岡山～倉敷間にわける通勤・通学流動 (H27年国勢調査)

▶ ソフト施策として、ノーマイカーの取組（スマート通勤おかやま）、時差通勤の呼びかけを実施しているが、各種施策の情報発信が単発で実施されており、渋滞緩和・環境改善の取組に向けた統一的な情報発信が必要である。

▶ そのため、2019年度に岡山倉敷都市圏のMM施策を統一的に周知していくためにMM施策の総称（ロゴマーク、キャッチコピー）である「GOOD ROUTE」を作成した。

■ 時差通勤の呼びかけ



■ MM施策の総称「GOOD ROUTE」

■ スマート通勤おかやま



■ 各種施策を統一的に周知するための総称を作成

各種施策を
統一的に周知
するための
総称を作成



GOOD ROUTE

MM施策の総称「GOOD ROUTE」の2020年度の取組

- ▶ 2020年度では、2019年度に作成したMM施策の総称「GOOD ROUTE」を活用したプロモーション活動とプロジェクト活動を実施した。
- ▶ プロモーション活動では、ホームページ、ポスター、横断幕、コンセプトムービーを作成・公開し、プロジェクト活動では、既存のMM施策の統一化した情報発信だけでなく、朝活プロジェクト等の新規のMM施策を企画し、実施した。

■ プロモーション活動



2020年度の取組結果、今後の取組方針

■ 2020年度の取組結果（取組効果）

- ▶ 2020年度の取組結果より、国道2号利用者からは、認知度はまだ低いものの、①横断幕による周知効果が高いことや、②渋滞時間がもったいないという意識変化があることを把握した。
- ▶ ワンショットTFPを実施し、GOOD ROUTEを知ることで、今後1週間あたり、1~2日程度のクルマ利用の削減意向があること、時差出勤や経路変更、自転車での通勤の意向が高いことが分かった。

■ 効果検証アンケート（WEBアンケート）

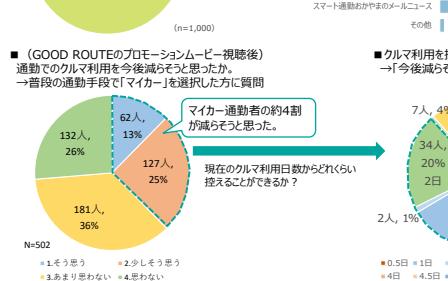
GOOD ROUTEの取組に対する認知度、その効果を把握するためのWEBアンケート調査を実施した。

期間: 2021年1月26日～2021年1月28日
対象: 岡山県内在住でクルマで主要道路（国道2号、国道30号、国道53号、国道180号）を利用している方
回収: 1,000サンプル

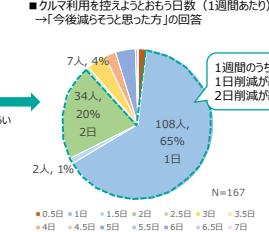
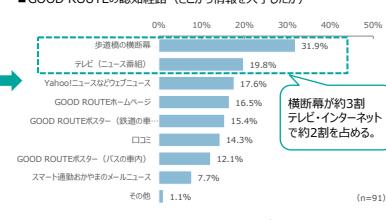
【ワンショットTFP】
岡山倉敷都市圏で実施しているGOOD ROUTEの取組内容等の情報提供を行い、移動に関する行動変容を促す調査（コミュニケーションアンケート）を実施した。

期間: 2021年1月18日～2021年2月5日
対象: スマート通勤おかやまに参加頂いた事業所の従業員（職員）
回収: 672票
(配布1,093票、回収率61.4%)

■ GOOD ROUTEの認知度



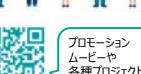
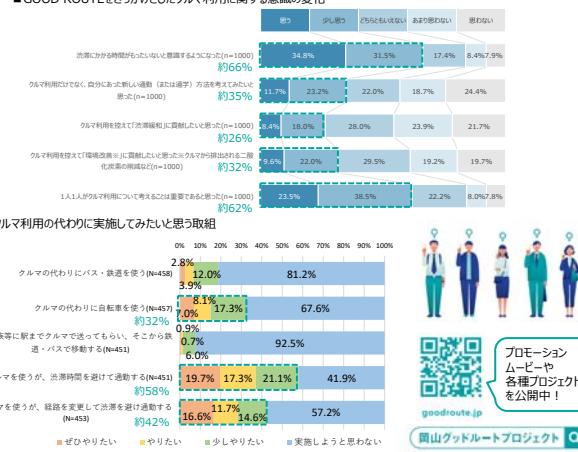
■ GOOD ROUTEの認知経路（どこから情報を入手したか）



■ 今後の取組方針

- ▶ GOOD ROUTEの認知度の向上を目指し、ハード整備、ソフト施策の両輪からの周知活動を実施（2021年8月よりラジオからの呼びかけを開始）
- ▶ 中長期的な視点より、「時差出勤」、「経路変更」等を実施してもらうために、企業及び地域住民への浸透や動機付けの提供を実施

■ GOOD ROUTEをきっかけとしたクルマ利用に関する意識の変化



岡山グッドルートプロジェクト